

スポーツ領域と健康領域の特徴

スポーツ健康学科には、スポーツ領域、健康領域の2領域が設定されている。この領域の選択は、2年次の前期に行う。領域選択や、科目登録の際は、1年次の学びの中で、自分自身が最も目指している将来像を意識することが重要である。以下は提供されている2つの領域の特徴である。

<スポーツ領域>

スポーツパフォーマンスの向上、アスリートの養成、ハイレベルな指導者の養成を目指すために必要なスポーツ科学、マネジメントを学ぶ。科学的なスポーツ理論・実践を通じて専門的知識をあらゆる角度から習得し、学識豊かなスポーツ指導者の育成を目指す。

取得できる免許・資格（詳細はP57を参照）

- 保健体育教諭免許（中学校、高等学校）
- 日本体育協会公認スポーツ指導者資格
- 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者

<健康領域>

個々ならびに社会全体のウェルネスを向上させるための健康科学理論と方法論を学び、健康増進や疾病予防、健康長寿などの観点から健康を支援する人材の育成を目指す。

取得できる免許・資格（詳細はP57を参照）

- 養護教諭一種免許
- 第一種衛生管理者免許
- 健康運動指導士
- 健康運動実践指導者
- 社会福祉主事任用資格

【領域選択時の留意点】

- ① 領域によって、提供資格が異なることや、領域の学生を優先する科目がある。ただし、2年終了の時点で、GPAが3.3以上および72単位以上取得の場合は、領域を超えての科目履修を可能とする。
- ② スポーツ領域では、専門教育科目の実技系科目を8単位以上取得しなければならない。また、ウインドサーフィン、スクーバダイビングⅠ、スキー・スノーボードの科目のうち1単位以上取得することが望ましい。
- ③ 履修計画や時間割の作成方法については、新入生オリエンテーションで説明するが、わからないことがあれば、クラス担当教員、ウェルナビ学生に相談すること。
- ④ 履修計画をうまく立てないと充実した学生生活を過ごすことが出来ないだけでなく、4年間で卒業できない場合もある。